



宮司プレス 百十四号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十八年 五月二十一日

◇宮司の柴田です。発行の遅れを取り戻す

ことができないままに、徒(いたづら)に時を過(と)してしまふのが、ルーティン、いつもと変わらない日常、悪しき習慣となりつつあります。過日、衣替(ころもがえ)をおこないました。立夏と立冬で行っています。

夏装束での今年初めての恒例祭(こうれいさい)は、福浦金刀比羅宮(ふくらことひらぐう)の例祭でした。五月の第三土曜日、日曜日にかけて斎行(さいこう)されています。本来は、五月十日が、祭礼日(さいれいび)でありましたが、お神輿(みこし)巡幸(じゅんこう)等の祭典厳修(さいてんげんしゅう)に鑑(かんが)みて、二度の日程変更を経て現在に至っています。一度目は、先々代八十二(やそじ)宮司の時代、思い切

って十月十日、国民の休日である「体育の日」に変更されました。明治気質(かたぎ)の先々代宮司を説き伏せた当時の世話人さんたちの祭りへの意気込みには、感服させられます。ようやく、日時の定着化と思われるかもしれませんが、「ハッピーマンデー構想」という施策により、「体育の日」が、毎年異なる事態にみまわれてしまいます。

ようやく、平成十四年、先代典行(のりゆき)

宮司の時代に至って、現在の日時に斎行されるようになったのです。ともあれ、祭礼日の変遷はありますが、関係各位の御努力により、文政十二年(一、八二九)年に御鎮座(ごちんざ)の百八十七年伝統の神事が守られているのです。彦島には、四月の竹の子島金

刀比羅宮のお神輿の御巡幸を皮切りに、福浦来月の海士郷恵比須神社、七月の夏越祭、十月の田の首八幡宮、六連島八幡宮、秋季例大祭と七回の御神幸祭があります。じつは、このお神輿の御巡幸の原型というのは、聖武

天皇(しようむてんのう)様が、東大寺をお建てになられて、国の象徴としての奈良の大仏建立にあたる時、これを助けるために、宇佐八幡神は、屋根に金色の鳳凰(ほうおう)が輝く天皇陛下の乗物である鳳輦(ほうりん)に乗られて奈良の都へと渡られました。これが、千二百年を歳月を経て、現在に伝わる、お神輿の起源であり原型です。したがって、八幡宮に御奉仕する私共は、お神輿の御巡幸を大切に守り伝える使命があるのです。◇さて、同じ彦島のお神輿の御巡幸も、各地で流儀(りゅうぎ)が若干違います。最初

から最後まで、伊勢音頭で、お神輿を練(ね)

るのは、田の首八幡宮だけです。竹の子島

金刀比羅宮も、伊勢音頭で練るのですが、お神輿が、お帰りになるときだけです。しかも、同じ伊勢音頭なのに、節回しが違います。

本家本元の伊勢の神宮の伊勢音頭ともちがいます。共通なのは、「ミイーコシジャ ヨーサジャ」という掛け声です。この「チヨーサジャ」は、関西中心の共通の掛け声とされる「ちようさやようさや」の変形だと考えられます。関東は、「わっしょい」が、主流です。北原白秋作詩の童謡、東京日枝神社の祭りが題材ですが、やはり、「わっしょい」です。室町時代までは、「えいさらえいさ」が、全国共通だったようです。江戸

時代中期の浄瑠璃(じようるり)に、お神輿の行列にともなう掛け声として「ちようさやようさ」が、用いられ、関西中心に広まったようです。それが、彦島では、お国なまりも加味されて、「ミイーコシジャー チョウサジャ」と定着したようです。大切に後世に伝えたい伝統の掛け声です。熊本地震発生から、ちようど一月を迎えた過日の福浦金刀比羅宮のお神輿のご巡幸も、無事に厳かに執り修めました。祭りは、神様と私共が、真に釣り合っている状態、神様にお願いをして、その約束を反故(ほんご)にしないよう努力することを誓い、その過程に神様のご加護

を願うのです。必ずしも、思い描いた結果に至らなくても、今の現状に感謝をし、前向きな気持ちになって生活をする、これこそが、真に釣り合っている「祭り」なのだと思います。被災された方々、「神も仏もない」、なかなか受け入れられない苦難の日々が続きます。寄り添うことが、とても大切だと思います。私共は、当たり前の日常に感謝しつつ、先月号にも記載した、「足るを知る生活」を心がけ、きつと青空を見上げることが出来る事を信じて、その幸せをかみしめつつ生活する事が大切だと思います。ご自愛をお祈り申し上げます。

◇四月の祭典行事報告

▼月次祭 *四月一日、十五日

▼貴布禰神社月次祭 *四月一日



▼檀原神宮遥拝式（ようはいしき）

*四月三日

▼六連島八幡宮境内社荒神社（こうじんじや）

例祭 *四月九日

▼竹の子島金刀比羅宮例祭

*四月九日～十日



▼舟島神社例祭ならびに巖流佐々木小次郎

剣客大人命（がん流ささきこじろうけんき

やくうしのみこと）慰霊祭

*四月十六日



▼彦島地区戦没者慰霊祭

*四月十七日

▼朝粥会 *三月二十一日

▼南風泊（はえどまり）底引き網組合参拝

*四月二十八日

▼昭和祭 *四月二十九日

◇四月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇維蘇志会総会 *四月四日

◇舟島神社杯争奪とこわかグラウンドゴルフ大会 *四月十日



◇敬神婦人会総会 *四月二十四日

◇奉賛会役員会 *四月二十五日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇山口県神社総代会研修会 *四月六日

◇山口県神社庁下関支部三役会

*四月十一日

◇山口県神社庁役員会 *四月十一日

◇山口県神社庁下関支部幹事会

*四月十三日

◇下関支部聞く会例会

▼教誨（きょうかい）活動

※美祢社会復帰促進センター

◇集合教誨男子 *四月二十五日

▼下関西ロータリークラブ

◇花見例会（当宮） *四月六日

◇例会 *四月十三日、二十日

◇理事会 *四月二十日

▼迫町自治会

◇役員会 *四月二十日

◇組合長会議 *四月二十三日

▼その他

◇西信経友会総会 *四月二十一日